

放射線に関する Q & A

放射線は目に見えません。しかし正しく認識し、対処することで過剰な心配や、無用な被ばくを避けることができます。放射能対策室では定期的に、この Q & A を連載していきます。

監修＝相馬市健康対策
専門部会委員、東京大
学医科学研究所
坪倉正治
作成＝放射能対策室



Q 市内のプールに使われている水は安全ですか？（市民からの質問）

A 7月から、市内の各学校でプール開きが予定されています。学校などのプールに使用されている水は、水道水が使用されており、水道水は飲料水としても利用されているため、水道水に含まれる放射性セシウムの基準値は、飲料水と同じ基準値（1 kgあたり、セシウム 134 とセシウム 137 の合計が 10 ベクレル）が定められています。

水道水について、市内の水源地及び浄水場で採取された水は、週に 3 回のペースでゲルマニウム半導体検出器（検出下限値が試料 1 kg 当たり 1 ベクレル未満の測定器）を使用した検査が行われておりますが、放射性物質は検出されていません。

セシウムは泥と強くくっつく性質があり、浄水場で水道水を作る際に土と一緒にセシウムが取り除かれてしまうためです。

また、福島県でも、県内各地の教育施設にあるプールの水質検査（検出下限値が試料 1 kg 当たり 1 ベクレル未満の測定器を使用）を行っています。平成 26 年度は、県内 1,335 箇所のプールで検査されましたが、全ての水から放射性物質は検出されていません。

市内の小中学校は平成 25 年度までにプールを含めて除染が完了しています。屋外のプールでは

プール底に土や泥が溜まっていることがありますが、プールの水が道ばたの水たまりのような土だらけの泥水になるわけではなく、強く汚染される状況にはありません。1 リットル・2 リットル飲むことも無いと思います。そしてプールの水が不足した場合には常に水道水がプールに補充されます。

また、水は放射線を遮る効果があり、水中の方が空気中よりも周辺からの放射線は遮蔽されます。

もうすぐ学校の夏休みが始まり、夏の本番を迎え気温が高くなりますので、熱中症に気を付けてプールで遊びましょう。

●食品 1 kg あたりに含まれる放射性セシウム（セシウム 134 と 137 の合計）の基準値

食品群	基準値
飲料水 ※水道水、井戸水など	10 ベクレル
一般食品（米、野菜など）	100 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル

出典：▽福島県ホームページ「平成 26 年度学校等屋外プールの環境放射線モニタリング調査結果」

▽除染情報プラザホームページ「除染・放射線 Q&A」

▽相馬地方広域水道企業団ホームページ

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

自家消費野菜などの放射性物質測定結果 5 月分

▽測定件数 測定件数 101 件
（内訳…野菜 18 件、果実 4 件、魚 4 件、山菜・きのこ類 44 件、その他 31 件）
▽基準値を超えた食品 3 件
（内訳…山菜・きのこ類 2 件、その他 1 件）

●相馬市で出荷制限などを受けている食品（6 月 10 日現在）

▽クリ▽くさそてつ（こごみ）▽たけのこ▽ふきのとう（野生）▽ぜんまい▽たら（露地）▽原木しいたけ（露地）▽原木なめこ（露地）▽野生きのこ▽こしあぶら▽うど（野生）▽牛（県の定める出荷・検査方針に基づくものを除く）

※最新の情報は、福島復興ステーションホームページ内の「農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング結果【詳細】」で確認ください。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/non-kekah.html>

◎これまでの食品の検査結果（相馬市ホームページ）

<http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html>

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37-2270）